

酒類・食品 & News 解説

週刊

令和8年1月30日(金曜日) 第3480号

(昭和42年7月10日第3種郵便物認可)

毎週金曜日 発行 編集発行人 石母田 健

購読料 6カ月 15,730円(税込み)

振替番号 東京4-71739

発行所 横井日刊経済通信社

本社/東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋府川ビル

☎03(5847)6611代 FAX 03(5847)6600

名古屋支局☎052(253)6924 大阪支局☎06(6353)1791

http://www.nikkankeizai.co.jp/



ロッテは5%増で市販用が5%増、業務用が10%増。定番品を「冬品質」に切り替え需要喚起に成功した「爽」が33%増で、「濃いバニラ」が40%増、「練乳いちご」が53%増、「贅沢濃厚バニラ」が2.2倍、「生チョコ in バニラ」が51%増。「雪見だいふく」が7%増で、「バニラ」が7%増、「バート」のいちご」が2%増、「グランキー」が43%増、「マルチ」が5%減、「マルチ」が3%減、「マルチ」が5%増、「ミニ」が9%増、「コク」のショコラ」が6%増。テレビCMを増やした「レディーボーデン」が20%増で、「ミニカップ」が40%増、「パイント」が16%増、「マルチ」が8%増。昨年が55%増だった「ガーナ」は反動で13%減、「バニラバーン」が15%増。「ドール」が2%増。「ハーモニ」が10%弱の伸長。「エッセル」ブランドは前年クリア。昨年11月に発売

江崎グリコは前年超え。「アイスの実」「パナップ」が前年を下回ったものの、「パピコ」「牧場しぶり」「SUNAO」「セブンティーンアイス」が前年超え。マルチも450円層+OP、580円層、680円層とともに前年を上回った。

森永乳業は3%増。昨年、終売となつた「ビエヌタ」に別れを惜しむファンからの特需が発生。全体のベースを押し上げており、その分を除けば2ケタ以上の伸長だった。「パルム」は22%増で、ノベルティ・マルチとともに好調。「MOW」が4%増で、「PRI ME」が苦戦するも定番品が好調。「ピノ」は26%増で、「ピノのくじ」パッケージがヒットし、アソートパックも好評。

明治は10%弱の伸長。

「エッセル」ブランドは前年クリア。昨年11月に発売

12月のアイスクリーム商況は、9%程度前年を上回った。(本紙調) また、4月からの累計は5%増。12月の各社実績は次の通り。

ロッテは5%増で市販用が5%増、業務用が10%増。定番品を「冬品質」に切り替え需要喚起に成功した「爽」が33%増で、「濃いバニラ」が40%増、「練乳いちご」が53%増、「贅沢濃厚プリン」が前年並み、180円から230円に単価アップした「贅沢濃厚バニラ」が2.2倍。「生チョコ in バニラ」が51%

増。「雪見だいふく」が7%増で、「バニラ」が7%増、「バート」のいちご」が2%増、「グランキー」が43%増、「マルチ」が5%減、「マルチ」が3%減、「マルチ」が5%増、「ミニ」が9%増、「コク」のショコラ」が6%増。テレビCMを増やした「レディーボーデン」が20%増で、「ミニカップ」が40%増、「パイント」が16%増、「マルチ」が8%増。昨年が55%増だった「ガーナ」は反動で13%減、「バニラバーン」が15%増。「ドール」が2%増。「ハーモニ」が10%弱の伸長。「エッセル」ブランドは前年クリア。昨年11月に発売

江崎グリコは前年超え。「アイスの実」「パナップ」が前年を下回ったものの、「パピコ」「牧場しぶり」「SUNAO」「セブンティーンアイス」が前年超え。マルチも450円層+OP、580円層、680円層とともに前年を上回った。

森永乳業は3%増。昨年、終売となつた「ビエヌタ」に別れを惜しむファンからの特需が発生。全体のベースを押し上げており、その分を除けば2ケタ以上の伸長だった。「パルム」は22%増で、ノベルティ・マルチとともに好調。「MOW」が4%増で、「PRI ME」が苦戦するも定番品が好調。「ピノ」は26%増で、「ピノのくじ」パッケージがヒットし、アソートパックも好評。

明治は10%弱の伸長。「エッセル」ブランドは前年クリア。昨年11月に発売

12月のアイス9%増

本紙調

主な内容

物産伊ビール展開	7面
25年の清涼飲料市場	3面
グリコ脂肪対策新商品	5面
直新春日清製粉グ龍原社長	13面
直新春日清製粉グ龍原社長	14面
◎原料商品情報	8面
直新春日清製粉グ龍原社長	15面

私たちの暮らしさは、自然という大きな営みの中にあります。

その恵みを、無駄なく大切にいただきたために。

野菜や豆、穀物といった植物のおいしさと栄養を、

可能な限りぜんぶ閉じ込めました。

おいしいとカラダにいい、ともに叶える食生活へ。

「食べる」のぜんぶを、あたらしく。



私たちの暮らしさは、自然という大きな営みの中にあります。

その恵みを、無駄なく大切にいただきたために。

野菜や豆、穀物といった植物のおいしさと栄養を、

可能な限りぜんぶ閉じ込めました。

おいしいとカラダにいい、ともに叶える食生活へ。